

市原市公共下水道事業 市原都市計画下水道事業

事業再々評価(雨水)

平成20年11月

千葉県市原市

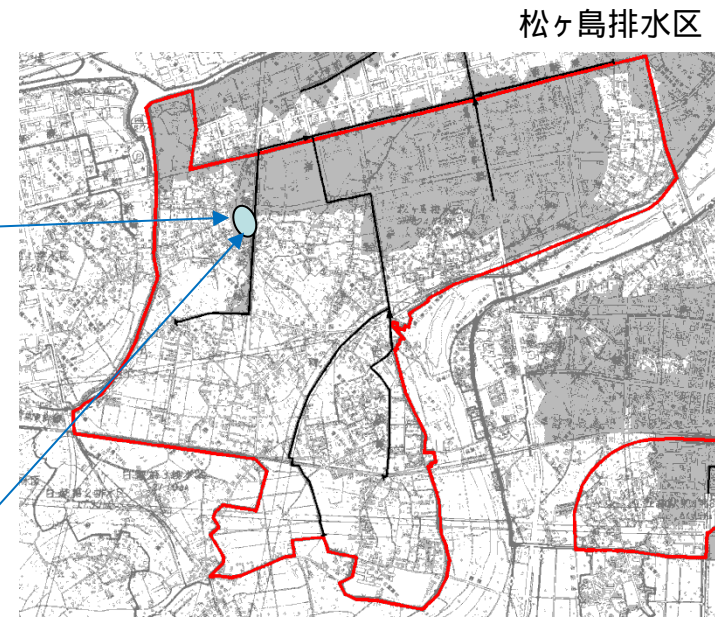
市原市の概要

本市は千葉県ほぼ中央部に位置し、工業・商業が集積している臨海部と農林業を主な産業としている内陸部に大別されている。



事業の必要性(雨水)

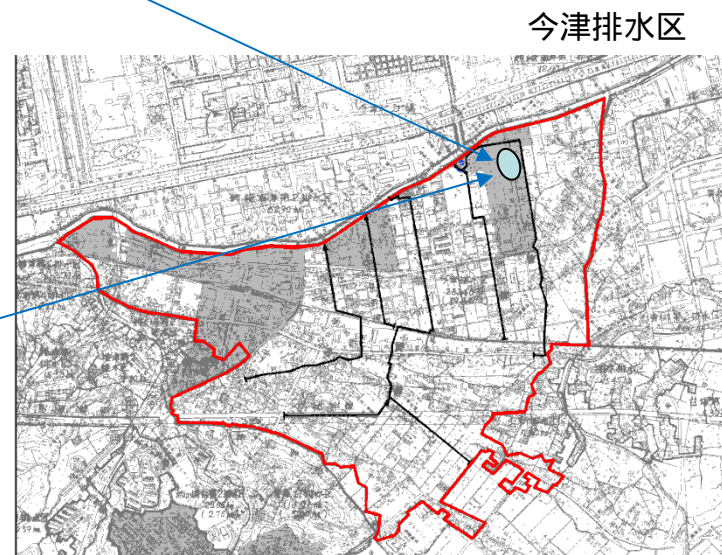
浸水による被害から住民の安全と財産を守る



公共下水道

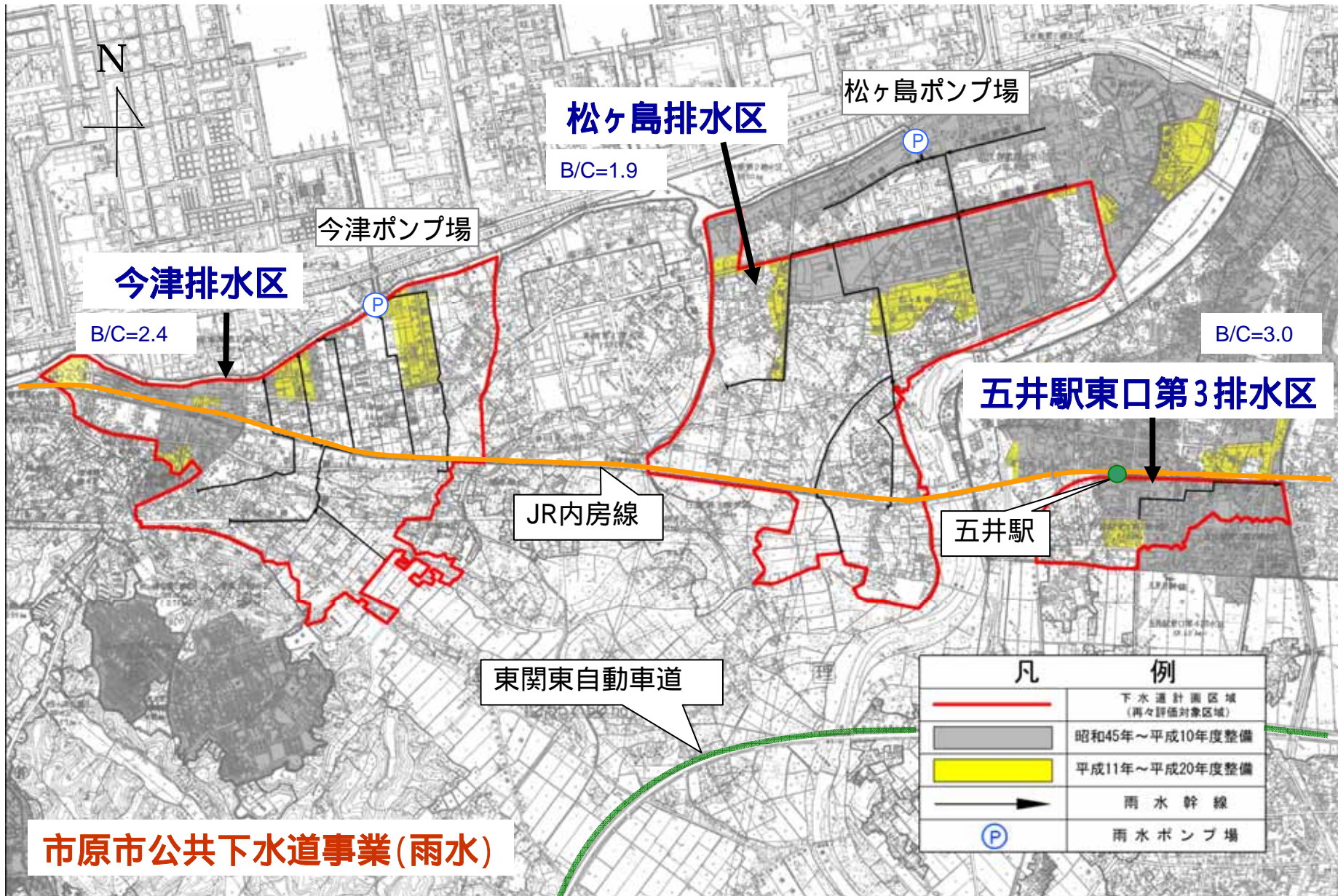
事業の必要性(雨水)

浸水による被害から住民の安全と財産を守る



公共下水道

事業の概要(雨水)



各指標と状況

公共下水道(松ヶ島排水区等)

	指標	状況	
指標1	費用効果分析	総便益(B)	445億円
		総費用(C)	210億円
		費用便益比(B/C)	1.9~3.0
指標2	事業の進捗状況	平成20年度までの整備面積は、事業計画312haに対して179haを整備し、整備率は57%である	
	地元情勢等	市原市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。	
指標3	社会経済情勢	下水道事業に影響のある社会経済情勢の変化は特にない。	
	計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。	
指標4	コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用や経済的な工法の選択によりコスト縮減に努めている。	

対応方針(案)

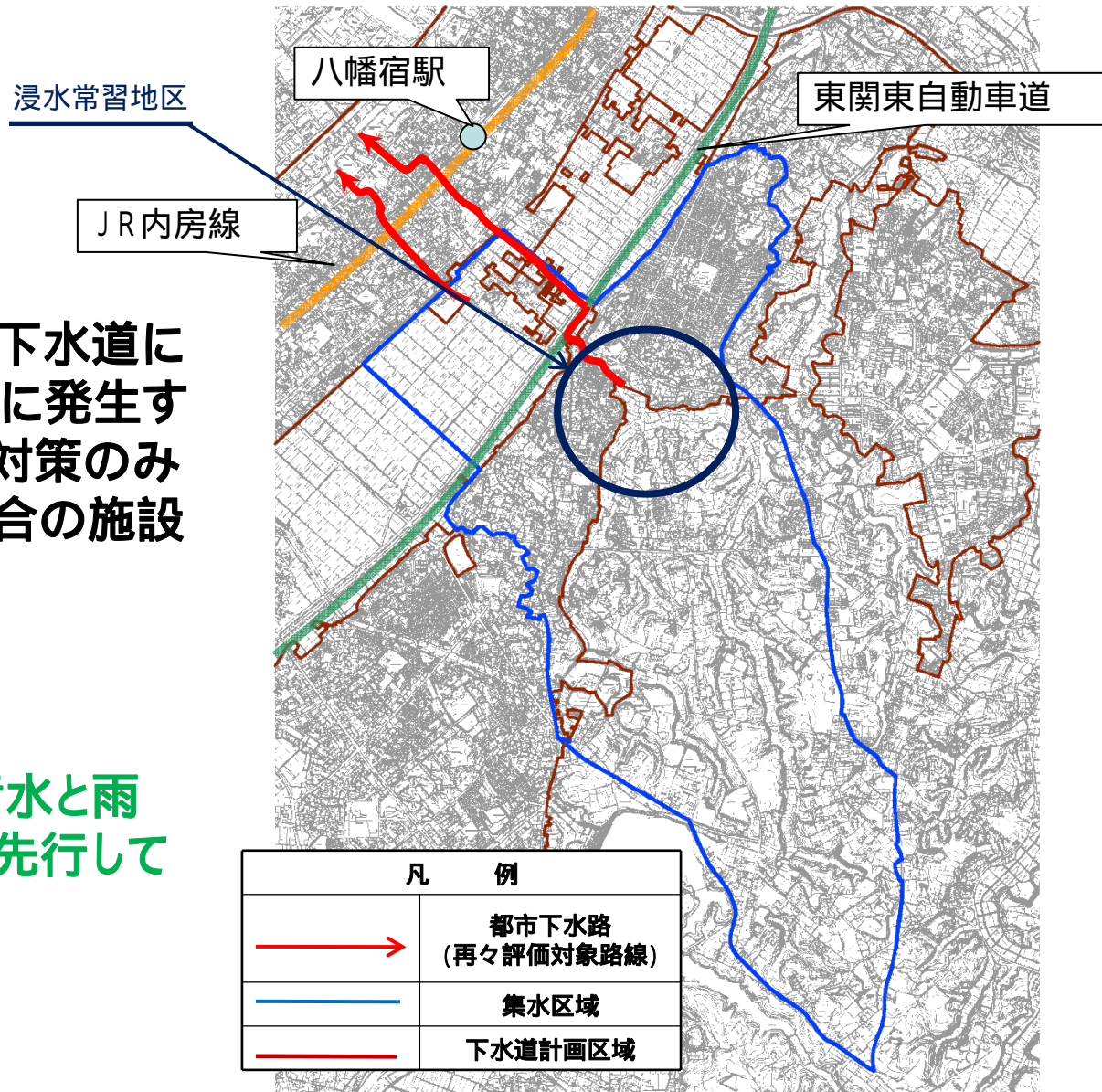
市原市公共下水道事業(雨水)は、今後も整備が必要とされることから、当事業を継続していく方針です。

都市下水路とは

若宮都市下水路

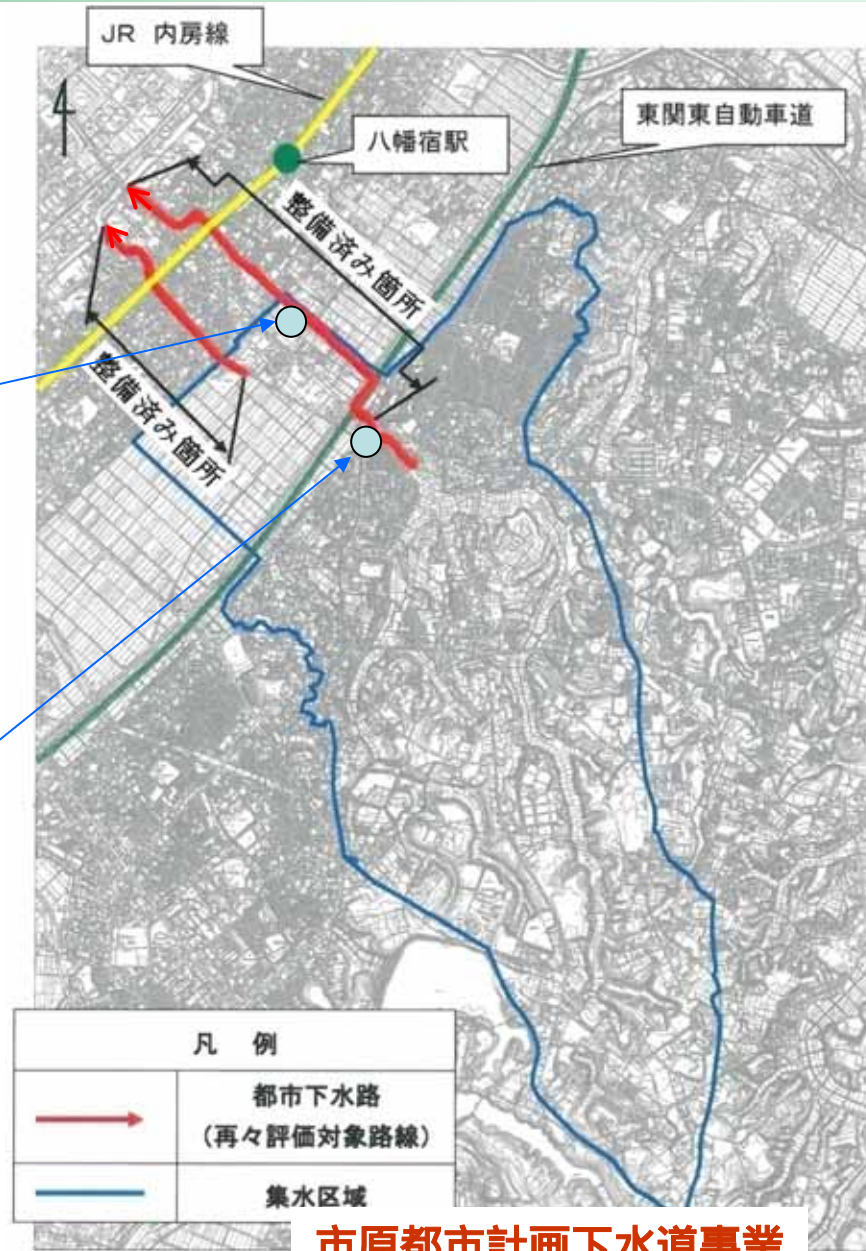
都市下水路とは、公共下水道に先立ち、浸水が常襲的に発生する地区において、雨水対策のみを先行して実施する場合の施設である

公共下水道事業は、汚水と雨水を同時、又は汚水を先行して整備する事業



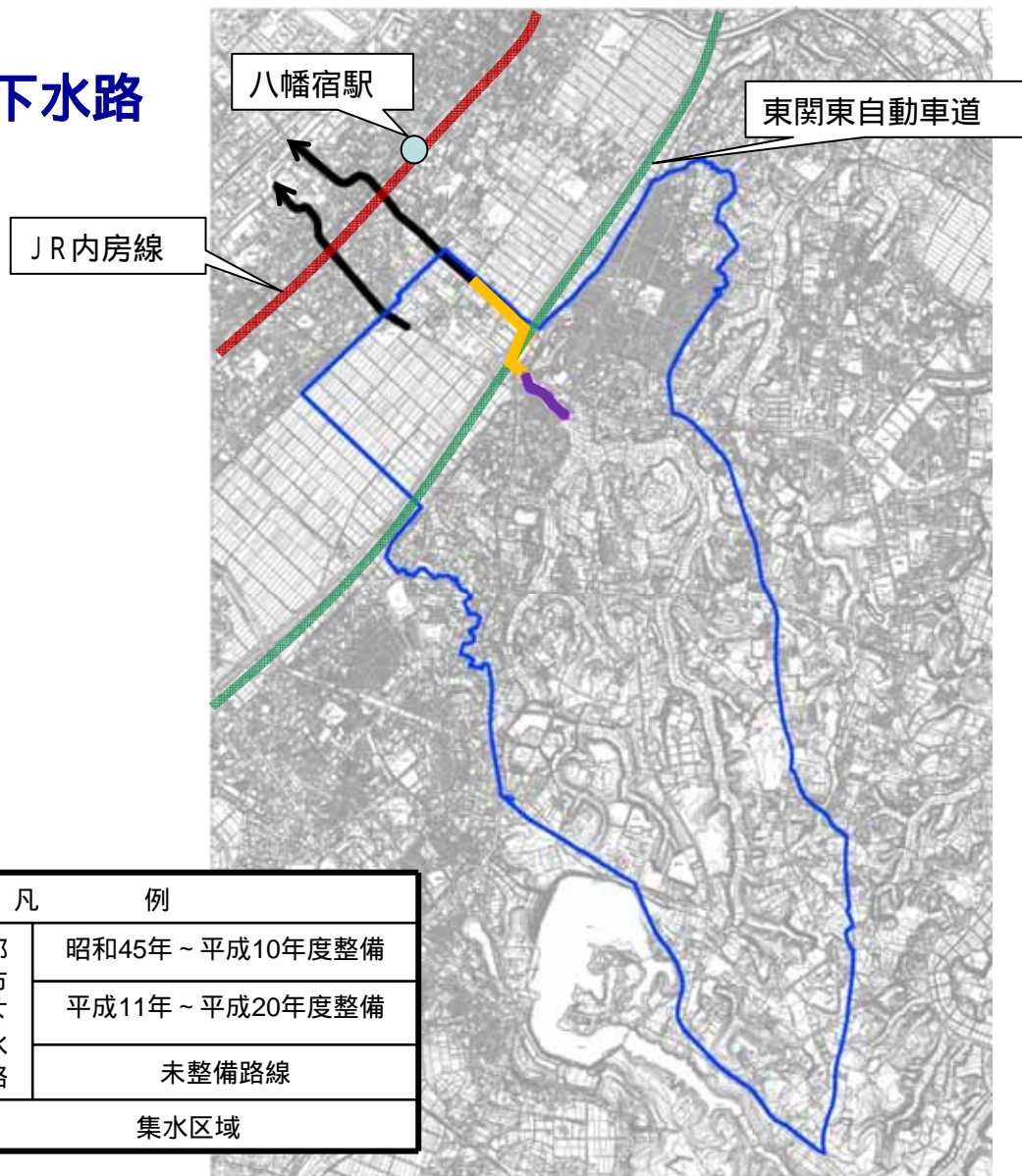
事業の必要性・概要(都市下水路)

浸水による被害から住民の安全と財産を守る



指標2 事業の進捗状況(都市下水路)

若宮都市下水路



市原都市計画下水道事業

各指標と状況

若宮都市下水路

	指標	状況	
指標1	費用効果分析	総便益(B)	221億円
		総費用(C)	71億円
		費用便益比(B/C)	3.1
指標2	事業の進捗状況	平成20年度までの整備延長は、事業計画3,770mに対して3,429mを整備し、整備率は91%である	
	地元情勢等	市原市議会の理解及び地元住民の協力は得られている。	
指標3	社会経済情勢	下水道事業に影響のある社会経済情勢の変化は特にない。	
	計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。	
指標4	コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用や経済的な工法の選択によりコスト縮減に努めている。	

対応方針(案)

市原都市計画下水道事業(若宮都市下水路)は、今後も整備が必要とされることから、当事業を継続していく方針です。